



パッテロー通信



《学校の教育目標》 心豊かで たくましい実践力をもつ子

八百津町和知 1227
電話 0574-43-0510

「ウサギとカメ」のその後

校長 中村牧史



66日間の2学習期が終わります。感染予防を優先しながら、今日を迎えられたのは、ご家族や地域の皆様のおかけであると強く感じています。ありがとうございました。

12月4日から、1948年に世界人権宣言が採択された12月10日までが人権週間です。和知小でも、12月7日に、動画を活用して人権集会「ひびきあいの日」を行いました。運営委員会、手話クラブの皆さんが大活躍しました。特に、「ありがとう」や「ぼかぼか言葉」、「とげとげ言葉」について考えました。自分たちの言葉づかいや仲間への接し方を見直し、あらためて「自分の気持ちだけを優先するのではなく、相手の気持ちになって考え、思いやりのある言動をすることの大切さ」を確認することができました。また、手話クラブの皆さんが、これまでの活動の成果として、手話で「OMOIYARIの歌」を発表しました。手話クラブは、講師の井戸さんにご指導いただきました。さらにパッテロースピリッツがあふれる学校生活になることが期待できます。その集会をふまえて、今日の終業式で次のような話をしました。



おはヨンジャーとトゲゾー

皆さんは、ウサギとカメの話を知っていますね。

「僕が勝つにきまつてるさ。」と思ったウサギは、道草をしたり、昼寝をしたりしました。そして、カメが勝ちましたね。今日は、この続きのお話です。では、「ウサギとカメ」のはじまり はじまり！

ウサギとカメが、かけっこをした次の日の新聞です。カメが嬉しそうに「やったー！」と言っているところと、ウサギがすみっこで泣いている写真が載っていました。ウサギは悔しくてたまりません。そこでウサギは「カメくん、もう一回競争しよう。本気で走ったら僕が勝つに決まっている。この前は本気じゃなかったから負けたんだ。」カメ「うん、いいよ。」「ヨーイドン！」ウサギとカメは、この前と同じ所を走りました。ウサギは、今度は一生懸命に走りました。カメは今度も一生懸命走りました。そして……

ウサギが勝ちました。ウサギがゴールに入った時、カメはまだ半分も来ていませんでした。

「やったネ。これが僕の本当の力さ。」ウサギは、得意でたまりませんでした。

次の日の新聞には、ウサギが、「やったー！」と言って、飛び跳ねている写真が載りました。そしてその隣には、やっぱり「やったー！」をしているカメが写っていました。「なんでカメさんが『ヤッター！』なんだ。勝ったのは僕なんだよ。」カメ「だって、僕 頑張ったもん。」

ウサギは「僕の方が強いということ、思い知らせてやろう。」と考えて、「カメくん、もう一回競争しよう。」

「うん、いいよ。」カメ「でも、今度は僕に場所を選ばせて。」ウサギ「ああ、いいよ。」そして、ウサギは「どこで競争しても、僕が勝つに決まっている。」と思いました。

カメが選んだ場所は海でした。「ヨーイドン！ ドボン。」カメは、ゆったり ゆったり すーいすい と泳いでいます。ウサギは……

ウサギは、溺れながら、あることに気が付きました。「僕は走るのが速いから、カメくんのすごいところを知らないで、威張ってばかりいたんだ。」

カメは、ウサギが溺れていることに気付くと、ビューン スイスーと、超スピードで戻ってきました。そして、海にもぐり、沈んでいくウサギを背中に乗せて助けました。それから、ウサギとカメは、仲の良い本当の友達になったということです。

このお話からどんなことがわかりますか？1つめ、勝つことだけが大切なのではなく、自分が満足できるぐらいがんばることが大切なのです。2つめ、誰にでも良いところがあり、それを知り合ってこそ仲の良い本当の友達になれるのです。自分の頑張りや自分の良さ、仲間の頑張りや仲間の良さ、どちらもお互いに大切にしていきましょう。そのことがパッテロースピリッツにつながります。

2学習期、子供達は、授業、やおリンピック、校外学習などを通して、仲間と関わりながら頑張り、成長を積み重ねてきました。誰にも得意なこと、良いところがあります。これからも、まわりと比べるのではなく、子供の成長に気づき、感動し、努力を認め、誉めるという営みを続けていきましょう。

明日から9日間の冬休みです。これまでと同様に、感染予防、交通安全、生活リズムなど、自分やまわりの人の大切な命を守る行動ができるようご指導ください。では、よいお年をお迎えください。

12月の「パッテロー活動」

◆人権集会



運営委員会の「ぼかぼか言葉」をテーマにした寸劇発表、手話クラブの「OMOIYARIの歌」発表の2つの動画を通して今の自分たちを振り返り、和知小全員が仲間の笑顔を大切に『パッテロースピリッツ』をこれからも大切にしていこうとする風土を高めました。

◆車いすバスケット体験

「あいおいニッセイ同和損保」所属、岐阜県出身の秋田啓選手を講師に招き、車いすバスケットの体験と講話を行っていただきました。「一つの大きな目標をつくり、それに向けて少しずつ小さな目標を達成していくことが大切」（6年後藤綺更さん）
「印象に残ったのは、足が不自由だけどあきらめずに自分のできることを精一杯やっていたこと」（5年古田和さん）貴重な体験となりました。



◆研究授業(5年社会科・4年国語)

八百津小、八百津東部中、西中の初任者の先生方が参観されました。和知小児童の授業に取り組む集中力の高さを見ていただけました。5年生「課題解決に向け、根拠となる資料を指差しながら仲間に説明する姿」、4年生「3人組で問題解決を図る姿」が光りました。(写真は4年生)



◆社会見学(5年生・トヨタ自動車)



工場内は写真撮影やメモを取ることは禁止されていたため、課題についての考えをもち、自分の目で確かめる学習となりました。

◆和知保育園交流(5年生)



5年生の皆さんが和知保育園年長児に一定早い学校紹介を行いました。最高学年になる準備ができつつあります。

◆ケータイ安心・安全講座(5・6年生)

KDDIの方を講師に迎え、ネットに潜む危険を知り、正しく情報活用能力をつけることの大切さを学びました。



◆クラブ(最終)

昨年度並みの回数を実施することができました。手話クラブではボランティアサークル井戸さんにご指導いただきました。



入賞・優良賞 おめでとうございます。(敬称略)

「こどもけいさつ絵画コンクール」	佳作	4年生	三宅咲有
	入選	4年生	伊藤 椰沙
「加茂地区歯の優良児童審査会」	優良賞	6年生	鈴木 凰太郎
	優良賞	6年生	坂崎 琴